

広報えんがる

瓦版

2020年(令和2年)
12月24日(木)
発行：遠軽町役場
総務部企画課
電話 42 - 4818
FAX 42 - 3688

スキー場ブルーライトアップ事業に関する報道について 強く抗議します！

本町の新型コロナウイルス感染症対策事業の一つでありますロックバレースキー場ブルーライトアップ事業について、コロナ対策に便乗した交付金の使い方をした問題のある事業の一つとして紹介され、コロナ対策と関係ないことが疑われる支出があるとして、本事業について疑問視する報道がされています。

11月25日には、TBSテレビの朝の情報番組「グッとラック！」にも取り上げられ、前日に副町長が番組ディレクターからの取材を受け、当時の病院の危機的な状況や病院関係者の方々からの感謝の言葉をいただいたことなどを含めて説明したところです。

「グッとラック！」の放送内容は、コロナ対策に便乗した交付金の使い方をした問題のある事業の一つとして紹介され、当時の医療現場の実態や事業の趣旨を全く理解していない実に不誠実な番組内容でありました。今回のテレビ報道は、本町における医療従事者の苦勞されている実態や本事業に対する医療従事者の反応についての取材及び事業の趣旨を無視する批判的な報道であり、本意であるとともに強い憤りさえ感じています。

本年2月に北見市で北海道初

の新型コロナウイルス感染症に係るクラスターが発生し、遠軽厚生病院は、オホーツク管内の基幹病院である北見日赤病院に過度な負荷をかけないために積極的に患者を受け入れるなどの対応をしてきました。これは北見日赤病院がコロナ対応で他の患者の治療ができなくなるとオホーツク全体が医療崩壊を起し、脳疾患などの患者の命を救えなくなるからです。

遠軽厚生病院では4月中旬から院内感染が発生し、さらに町内の障がい者支援施設においても集団感染が発生し、最終的に遠軽厚生病院関連では17人、障がい者支援施設では11人の患者が確認され、医療・福祉従事者のたゆまない努力により、7月2日をもって施設関連のクラスターは全て終息しました。

この間、遠軽厚生病院では、家族に高齢者がいるためホテルに宿泊する職員、自身が感染する恐怖を抱えながら働いていた職員、院内のコンビニの休業や自動販売機の補充停止のため食事や飲み物に困る職員、家族が勤務する会社を出勤停止になるなど、多くの職員が精神的に追い込まれ、中には誹謗中傷を受けることもありまし

た。まさに医療従事者が疲弊し、医療体制が崩壊寸前の状況にあっ

たと言えます。

遠軽厚生病院は、遠紋地域1市7町村を抱える最大の基幹病院であります。町としまして、何としても医療崩壊を防ぎ、地域医療を守らなければなりません。

このライトアップ事業は、昼夜を問わず、命がけでコロナウイルスと闘っている遠軽厚生病院職員及び障がい者支援施設職員をはじめ医療・福祉従事者に対し、敬意と感謝を込めて厚生病院はもとより中心市街地から見ることができ

るロックバレースキー場にて、5月12日から6月30日までの期間で実施したものです。既にスキー場としての営業期間は終了しており、照明設備を便乗して改善した訳でもありません。また、町内の民間宿泊施設など複数の事業所においても同時期にブルーライトのライトアップを自主的に実施されており、町ぐるみの取り組みとなつたところでもあります。

町としましては、このほか医療・福祉機関への支援として、大通りのふれあいパークにおいて医療・福祉従事者への応援メッセージの映写や町営バスの車体に応援メッセ

援していただいている事を実感し、本当に勇気づけられ、感謝しています」と北海道新聞や同病院のホームページにコメントするなど、医療・福祉従事者から感謝の気持ちで寄せられており、また、町へも直接感謝の言葉をいただいているところです。

このことから、ロックバレースキー場ブルーライトアップ事業

に関して、コロナ対策と関係ないことが疑われる支出として疑問視する報道については、繰り返しになりますが、実に本意で強い憤りさえ感じているところであり、強く抗議をします。

令和2年12月24日

遠軽町長 佐々木 修一

緊急

特定事業緊急支援金

町では、新型コロナウイルス感染症の流行により、経済的に大きな影響を受けている事業者の事業継続を緊急に支援するため、次の事業者を対象として新たに「特定事業緊急支援金」を支給します。

■支給対象及び支給額

| 対象事業の区分 | 支給額 |
|-----------------------------|------|
| 宿泊事業 | 20万円 |
| 交通事業(バス・タクシー(運転代行含む)) | |
| 飲食店営業事業 | |
| 酒類卸売事業(飲食店営業事業者等に酒類を卸売する事業) | |

- 令和3年1月1日以前から町内において営業実態のある事業者
- 事業所等の数に応じて支給します。
- 宿泊事業者等が、同一の事業所等において宿泊者以外を対象に飲食店営業を営む場合は、事業の数に応じて支給します。

■申請期間 令和3年1月12日(火)から3月2日(火)まで

■申請書類

- 支援金申請書(特定中小企業継続支援金を申請した場合、添付書類は必要ありません。)
- 通帳の写し(口座名義人、口座番号、口座種別、金融機関名、支店名が分かるページ)
- 本人確認書類の写し(個人事業者のみ。例…運転免許証等)
- 履歴事項全部証明書(法人のみ)

問商工観光課 ☎42 - 4819



遠軽町HP
QRコード

コロナに
負けるな！

医療従事者応援のためブルーライトアップを実施

コロナ対策として最も重要なのは、医療崩壊を防ぐこと。コロナ対策の現場では、医療従事者の減少により医療体制が崩壊の危機にあり職員も疲弊。

2月北見市で北海道内初のクラスター発生

北見日赤を守るため遠軽厚生病院も感染者を受け入れ

4月遠軽厚生病院で院内感染発生

最大17人の患者及び医療従事者が院内感染

4月障がい者支援施設で集団感染発生

最大11人の入所者及び職員が集団感染



スキー場ブルーライトアップ
期間～5月12日から6月30日まで

遠軽厚生病院から見えるロックバレースキー場でブルーライトアップを実施。

ブルーライトは、英国ロンドンが発祥。医療従事者への感謝の気持ちを表現してライトアップを始めたことが発端となり、世界中で広がった。

遠軽厚生病院は、遠紋地域1市7町村を抱える最大の基幹病院である

その時 遠軽厚生病院では何が起こっていたのか！！

感染した職員が、自分を責め精神的に追い込まれる

毎日感染する恐怖を抱えながら、患者の看護にあたっていた職員

家族に高齢者がいるため、ホテルに宿泊しなければならない職員

院内保育所が閉鎖により、子どもを預ける場がなく出勤出来ない職員（町立保育所で受け入れ）

院内のコンビニが急きょ休業し、食事が容易にとれない（町職員や会計年度任用職員等の有志が夕食等を提供）

自動販売機の補充休止により、飲み物さえ購入できない事態となる

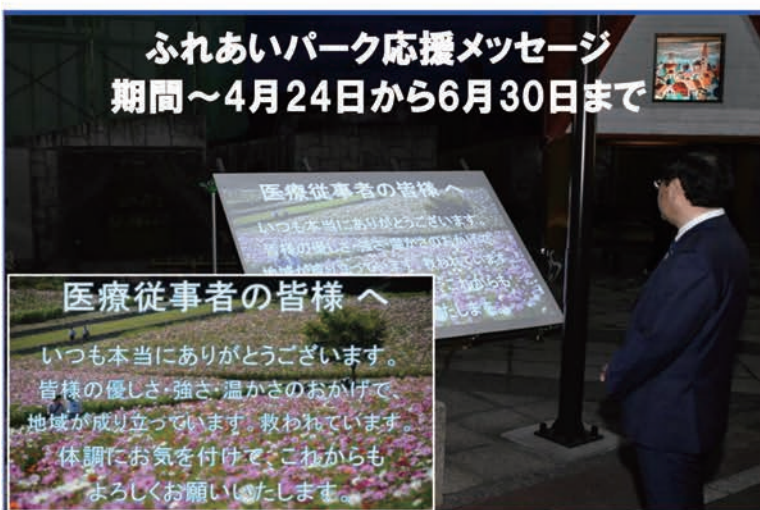
ウイルスという見えない敵に対応することから、不安のため精神的負担が増大

看護師等の確保が困難となり、勤務体制にも影響がでる

職員の精神的ケアのため、心療内科の相談窓口を開設

医療体制が
崩壊寸前

医療従事者
が疲弊



ふれあいパーク応援メッセージ
期間～4月24日から6月30日まで

医療従事者の皆様へ

いつも本当にありがとうございます。皆様の優しさ・強さ・温かさのおかげで、地域が成り立っています。救われています。体調にお気を付けて、これからもよろしくお願いいたします。



遠軽厚生病院
がんばれ！
0(・A・)0

町営バス応援メッセージ
期間～5月8日から5月26日まで
遠軽厚生病院から見える路線を走行

稲葉院長 談

「スキー場のブルーライトは病院からハッキリ見え、全町民に応援していただいている事を実感し、本当に勇気づけられ感謝している」

北海道新聞の取材や同病院のホームページにも掲載されるなど、医療関係・福祉関係の従事者から同様の感謝の声が寄せられました。